

明治ホールディングス株式会社 会社説明会

2024年1月17日

代表取締役社長CEO 川村 和夫

本日の内容

1. 基本情報

2. 事業戦略

3. 株主還元

100年にわたるイノベーションの歴史



「栄養報国」



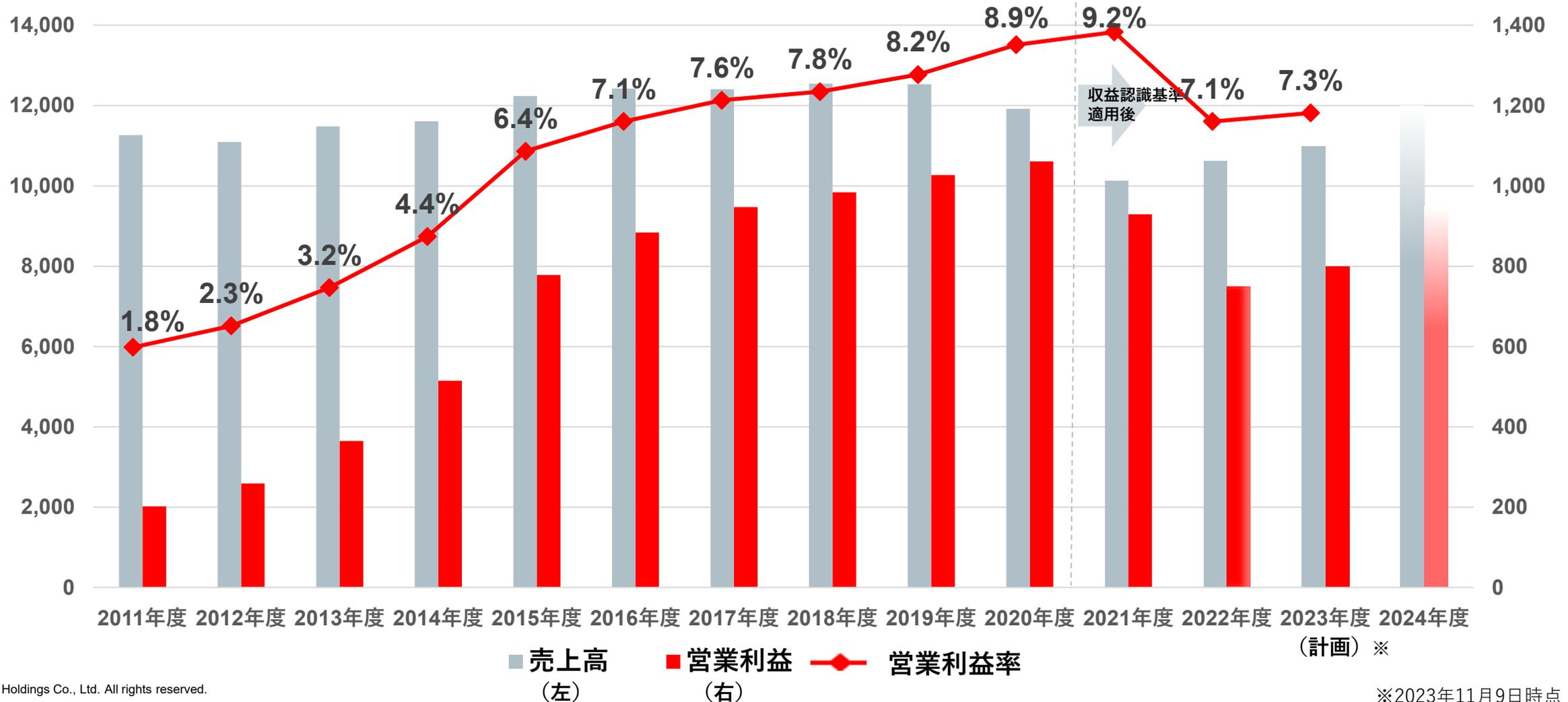
創業者
相馬 半治

| | | | | | |
|------|--|-----------|--|--|--|
| 1926 | | ミルクチョコレート | | | |
| 1928 | | 牛乳 | | | |
| 1923 | | 育児用粉乳 | | | |
| 1946 | | 感染症薬 | | | |

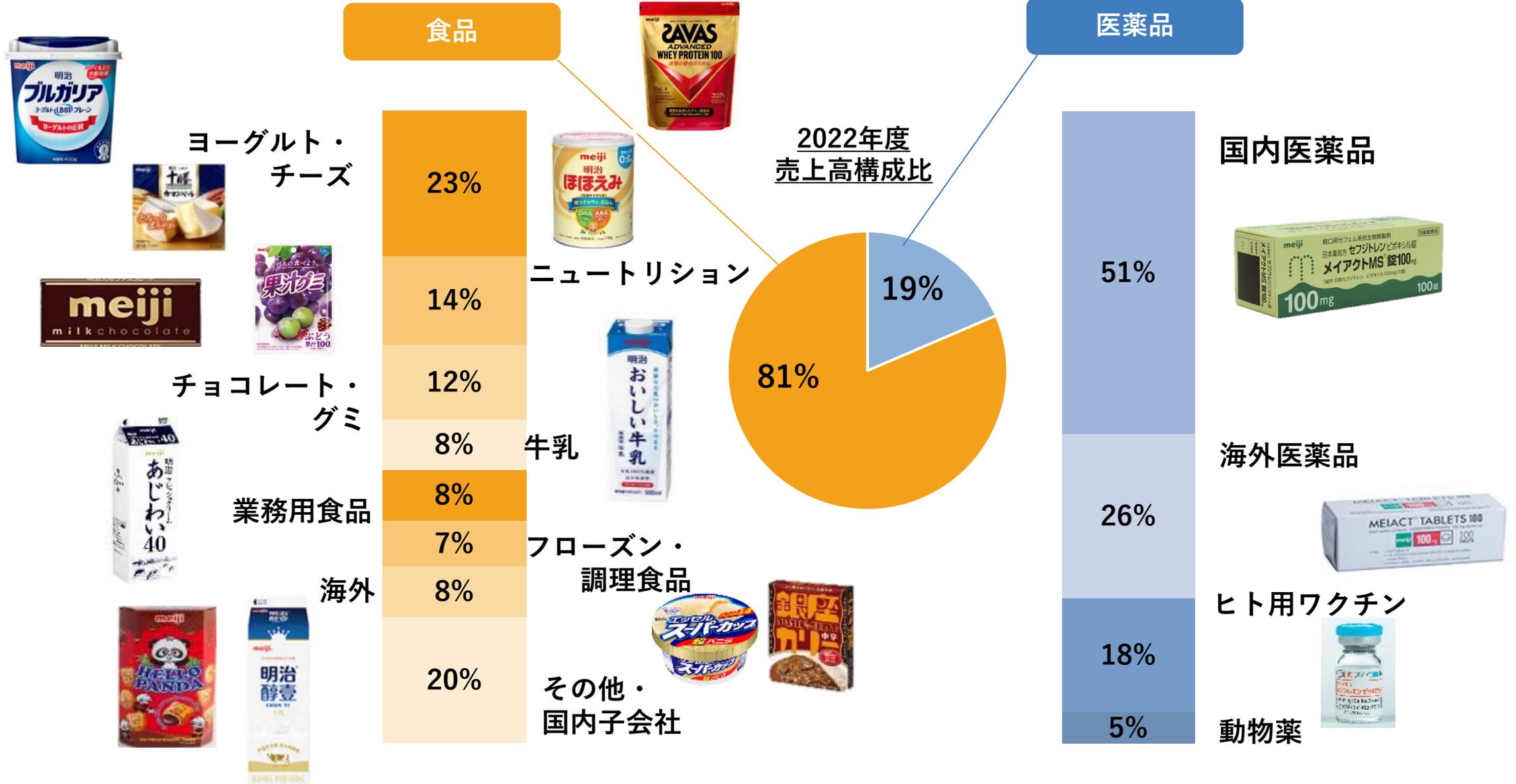
連結業績の推移

● 経営統合以降、収益性を大きく向上

(単位：億円)

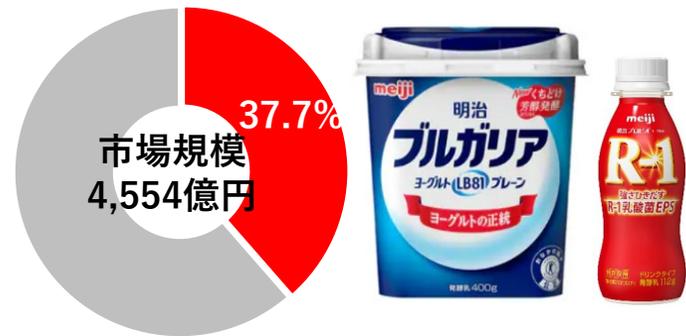


事業ポートフォリオ



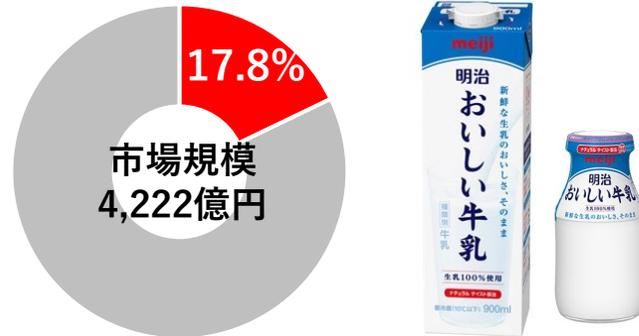
国内市場シェアNo.1製品 (食品)

ヨーグルト



※シェア (2022年度) 出典: インテージ社SRI+

牛乳



※シェア (2022年度) 出典: インテージ社SRI+

粉ミルク



※シェア (2022年度) 出典: インテージ社SRI+

チョコレート



※シェア (2022年度) 出典: インテージ社SRI+

プロテイン (粉末・顆粒)



※シェア (2022年度) 出典: 当社調べ

高齢者食・流動食 (病院栄養)



※シェア (2022年度) 出典: 当社調べ

国内市場シェアNo.1製品（医薬品）

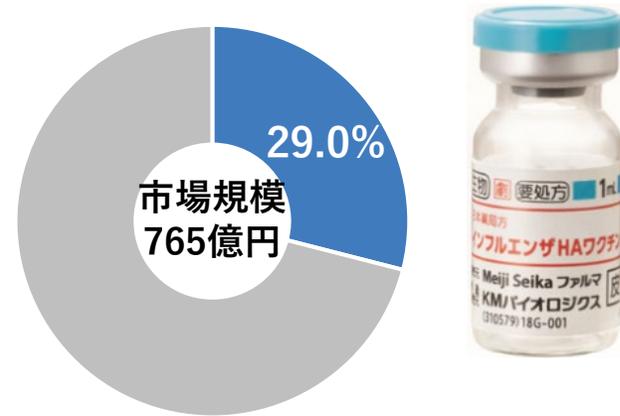
全身性抗菌剤

細菌による感染症の治療や手術時の感染予防に使われ、医療現場には欠かせない薬剤



Copyright©2023IQVIA.
出典：
IQVIA医薬品市場統計
JPM2023年3月MATをもとに作成。
市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

インフルエンザワクチン



Copyright©2023IQVIA.
出典：
IQVIA医薬品市場統計
JPM2023年3月MATをもとに作成。
市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

本日の内容

1. 基本情報

2. 事業戦略

3. 株主還元

2023中期経営計画（2021年度～2023年度）

コンセプト

明治ROESG[®]※経営の実践

利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

重点課題

1. 事業戦略

食品

- ①コア事業の成長力の回復
- ②海外展開の強化

医薬品

- ①Meiji Seika ファルマ・KMバイオロジクスの一体運営推進（ワクチン事業の強化）
- ②CMO/CDMOの強化

全体

新領域への挑戦

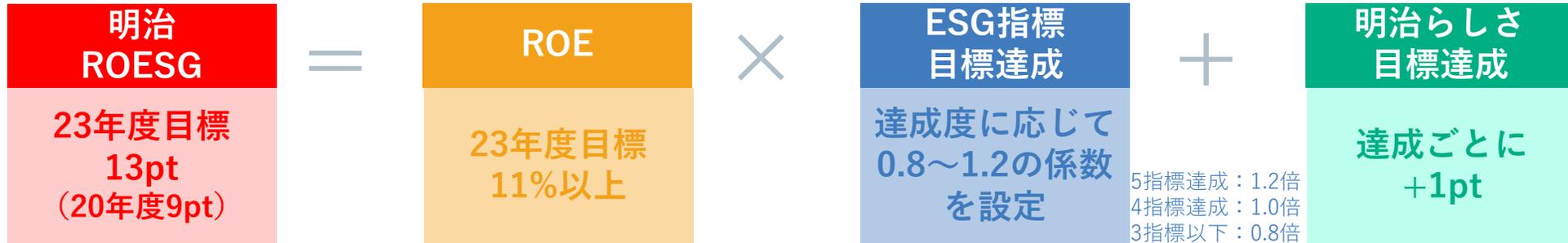
2. ROIC活用による経営管理体制強化

3. 成長投資の継続と強固な財務基盤構築の両立

4. サステナビリティ2026ビジョンの着実な実行

2023中期経営計画～明治ROESG®経営の実践

● 利益成長とサステナビリティ活動の同時実現



| 業績指標 | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度計画※1 | 23年度中計目標 | 項目 | 現時点での進捗 | 23年度目標 |
|----------------------|--------|--------|--------|----------|----------|---|-------------|--------|
| ROE | 11.1% | 13.5% | 10.0% | 7.0% | 11%以上 | 健康寿命延伸 ※2 | + 0.56年 | + 1年 |
| ESG評価指標 | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 23年度目標 | たんぱく質摂取量 | 71.4g/1日 ※3 | 75g/1日 |
| MSCI ESG Ratings | BB | BBB | A | A | A | インフルエンザワクチン接種率 | 55.7% ※4 | 60% |
| DJSI | 52点 | 60点 | 61点 | 67点 | 65点 | 従業員エンゲージメントスコア | 偏差値B | 偏差値A |
| FTSE4Good | 3.0点 | 3.3点 | 3.7点 | 4.2点 | 3.8点 | 健康志向食品、栄養付加価値型商品、超高齢化社会に貢献する商品の売上伸長率 ※5 | -3.1% | +10%以上 |
| CDP (Climate Change) | A- | A- | A | 24年1月発表 | A | 新型コロナウイルスワクチン・治療薬の開発成功と供給 | 開発中 | 開発と供給 |
| CDP (Water Security) | A- | A | A | 24年1月発表 | A | | | |

※1：2023年11月9日時点
 ※2：2016年（男性 72.14歳／女性 74.79歳）※3：2019年（最新データ）
 ※4：2021年度（最新データ）65歳以上の定期接種対象者ベース
 ※5：2020年度比



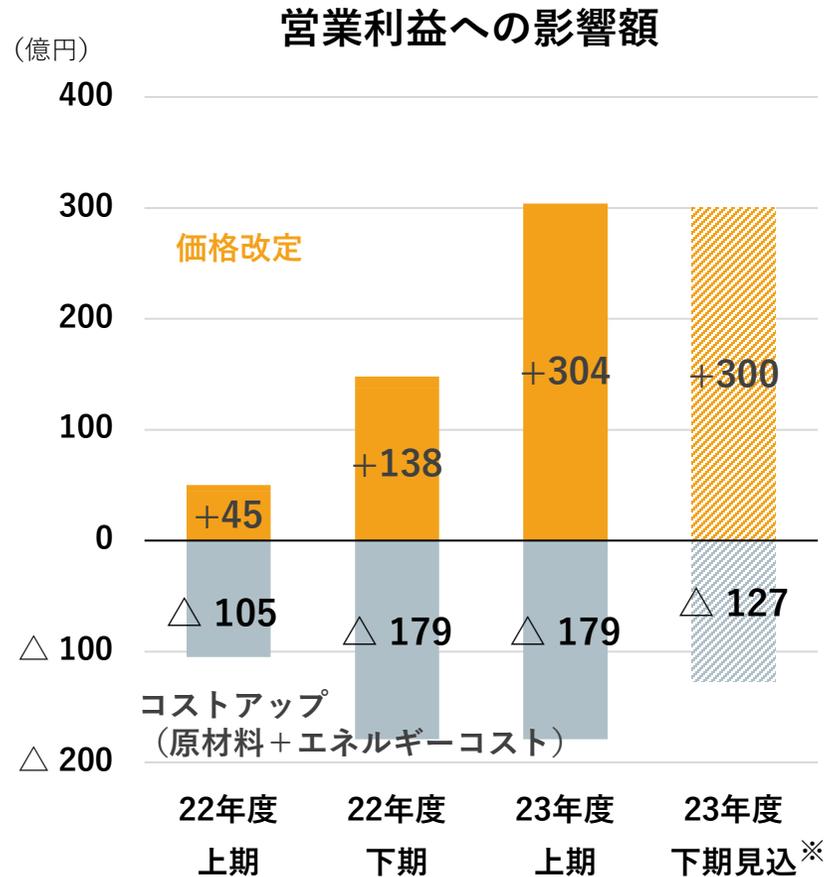
1. コストアップへの対応



2. コア事業のさらなる強化

3. 海外事業の成長加速

食品：コストアップへの対応



- 価格改定によりコストアップを吸収
- 付加価値を訴求することで改定後の価格は定着、数量も回復傾向

23年度の主な価格改定

| | | |
|-------|----------------|---------------|
| 23年3月 | アイスクリーム | +4-9% |
| 4月 | チョコレート・グミ | +5-10% |
| | ヨーグルト | +4-6% |
| | プロバイオティクス | +4% |
| | チーズ | +6-13% |
| | ザバス (粉末) | +4-5% |
| | ザバスマルク | +2-7% |
| 5月 | 粉ミルク 市販流動食 | +約8% +4-9% |
| 6月 | チョコレート・グミ (一部) | +8% |
| 8月 | ヨーグルト | +1-3% |
| | 牛乳 | +4-11% |
| 10月 | チョコレート・グミ | +4-24% |
| 12月 | クリーム | +約4% |
| | バター | +約7% |

食品：コア事業のさらなる強化

● プロバイオティクス

- ✓ 「LG21」は「胃の負担対策」として機能理解を促進
- ✓ 「脂肪対策ヨーグルト」は管理栄養士推奨を訴求しながら、さらなるユーザー獲得・定着に努める
- ✓ 「R-1」はR-1乳酸菌EPSを2倍配合した「R-1 the GOLD」を10月に市販でも発売
通年で体調管理を意識させる広告を展開

胃の負担対策に

えっ!? そうなの?

LG21乳酸菌が一時的な胃の負担をやわらげる

機能性表示食品

CM公開中
詳細はこちら!

新時代の脂肪対策はじまる。

脂肪性表示食品

体脂肪の蓄積を抑えることでおなかの脂肪を減らす

冬はやっぱり弱るから。



体調管理に本気の乳酸菌 強さひきだすR-1

R-1

The GOLD Members

豪華特典を提供する会員限定のプログラム
対象商品を飲んで、ポイントを貯めて応募しよう!

食品：コア事業のさらなる強化

● ヨーグルト

- ✓ ブルガリアヨーグルト50周年イヤーで露出を最大化
- ✓ 「ブルガリアヨーグルト」は10年ぶりに製法を変更し、おいしさアップ
- ✓ 消費者ニーズの変化にあわせて、個食タイプの商品ラインアップを強化

健康にアイデアを
meiji

50年目の新発売 /

プレーン
ヨーグルトって
進化できるんだ!

あなたもきっと驚く。新製法「くちどけ芳醇発酵」

meiji 明治
ブルガリア
ヨーグルト (LB81) プレーン
ヨーグルトの正統
発酵乳 400g

個食タイプ 🔍



食品：コア事業のさらなる強化

● チョコレート

- ✓ 「善玉コレステロールの増加」と「血圧低下」の2つの機能性表示を取得した「チョコレート効果Wプラス」を10月に発売



チョコレートで、おいしく
コレステロール 血圧

Wの対策

CACAO FLAVANOL

チョコレート効果
Wプラス^{Cacao} 72%

一日摂取目安量
3枚 (15g)
標準15枚入り

善玉コレステロールを増やすことを助ける
血圧が高めの方の血圧を低下させることを助ける

チョコレート効果 Wプラス^{Cacao} 72%

meiji

機能性表示食品
カカオフラバノールの研究報告

日本初!^{※1}

*1・出典：機能性表示食品の届出情報検索
検索対象期間：2015年4月～2023年9月
検索条件：「コレステロール」「血圧」で検索

*2 カカオフラバノールの研究報告

【機能性表示食品】
【届出表示】本品にはカカオフラバノールが含まれます。カカオフラバノールには、血中HDL（善玉）コレステロールを増やす働きが報告されています。また、血流を改善することで、血圧が高めの方の血圧を低下させる働きが報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は国の許可を受けたものではありません。●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。※カカオフラバノールとは、カカオ豆に含まれるポリフェノールの一類です。

食品：コア事業のさらなる強化

● スポーツニュートリション

- ✓ 「ザバス」は新たなプロテインを使用しプレミアム化とシリーズ展開を強化
- ✓ 「ザバスミルク」はたんぱく質配合量を増量した新商品を発売しラインアップを拡大

ザバスが進化した。

NEW RELEASE!



たんぱく原料として、
理想のアミノ酸組成を追求した
アシッドホエイプロテイン を新たに採用

すっきりとした風味でおいしく溶けやすい、飲みやすい品質を実現



おいしく続けられる
豊富なフレーバー

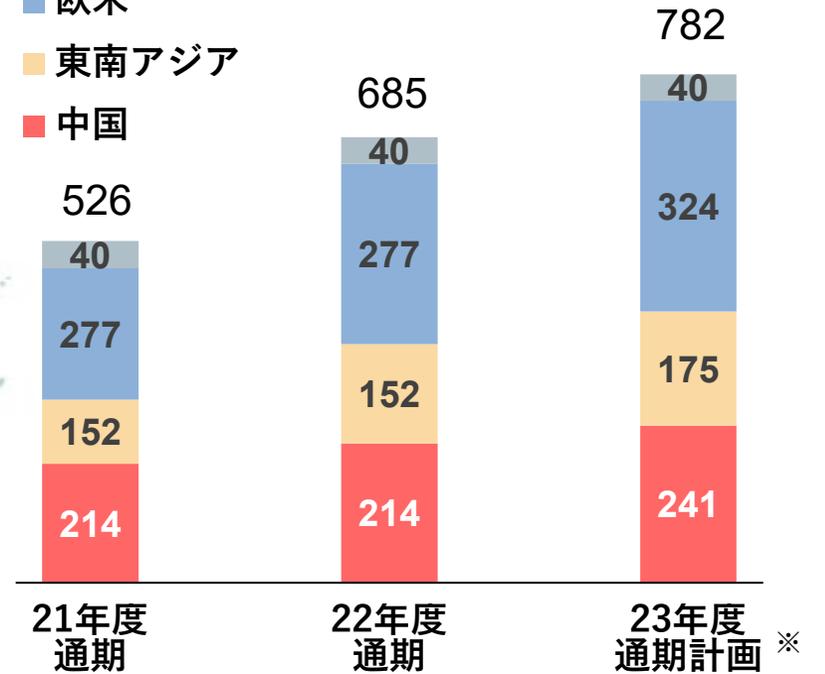
食品：海外事業の成長加速

- 中国・アジア・欧米を中心に海外事業を拡大



- 輸出・消去
- 欧米
- 東南アジア
- 中国

地域別売上高（億円）



食品：海外事業の成長加速—米国

- meijiの強みを生かして、市場創出を狙う



●meijiブランド



●STAUFFERブランド



食品：海外事業の成長加速—中国

● 中国事業はこれまで投資先行期間

- ✓ 2023年から2024年にかけて新工場稼働、次期中計で成長



中～高価格帯をメインにした展開。
消費の二極化が進む中で、付加価値訴求路線を継続

● 菓子

- 板チョコが好調
- 10月にパッケージ変更、秋冬に新商品を発売し、さらなる拡大を図る



● アイスクリーム

- 現地開発品を中心に好調



● 牛乳・ヨーグルト

- 業務用はおいしさや品質の高さが支持
カフェチェーンを中心に取引拡大
- 市販用は現地の人財を活用しながら独自性・差別性ある商品開発を急ぐ

1. 構造改革

2. 新規ワクチン開発



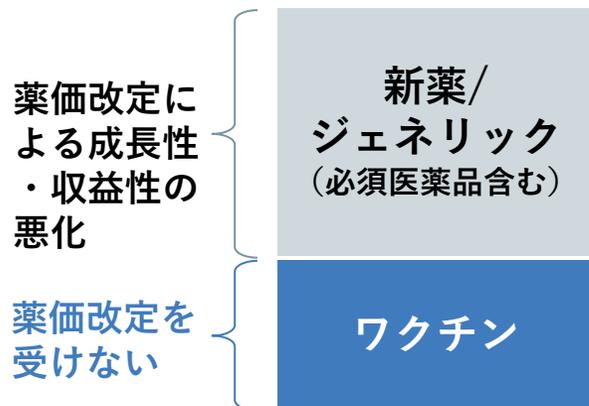
医薬品：構造改革を推進し、安定した収益基盤を構築

2023中計 主な構造改革

- 「選択と集中」で収益性を向上
 - ワクチン事業の強化
 - 新薬の売上拡大
 - ジェネリック事業の構造改革
- アセットライト化で投下資本を縮減
 - 農薬事業、DMバイオ株式の譲渡
 - 動物薬事業の統合
 - 横浜研究所の閉鎖を含む研究開発体制の見直し

医療用医薬品の 収益貢献イメージ

2023中計以前



今後



医薬品：2つのCOVID-19ワクチンの実用化の意義と可能性

- 今後も発生しうるCOVID-19変異株や次の未知なる感染症に迅速に対応するため、国内において生産体制を構築する

コストイベ筋注用

- ✓ 2023年11月28日 次世代mRNAワクチン（レプリコン）として世界で初めて承認
- ✓ 他社と協業し、原薬から製剤まで国内で一貫して製造できる体制の構築を進める

KD-414

- ✓ 一般的に副反応が少ないとされている不活化ワクチン
- ✓ 特に小児接種の新たな選択肢となることが期待される

mRNA医薬・ワクチン製造拠点
(ARCALIS社・南相馬工場の整備構想)



2023年度 連結業績見通し

- 通期の売上高・営業利益は前期比増。当期純利益は減益の見通し

| (億円) | | 23年度 上期実績 | | 23年度 下期計画※ | | 23年度 通期計画※ | |
|------|---------------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|----------------|
| | | | 前年同期比 | | 前年同期比 | | 前期比 |
| 連結 | 売上高 | 5,460 | +5.5% +285 | 5,524 | +1.4% +78 | 10,985 | +3.4% +363 |
| | 営業利益 | 444 | +2.9% +12 | 355 | +10.4% +33 | 800 | +6.1% +46 |
| | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 279 | △16.4% △54 | 230 | △36.0% △129 | 510 | △26.5% △184 |
| 食品 | 売上高 | 4,454 | +5.9% 248 | 4,456 | +0.1% +6 | 8,911 | +2.9% +254 |
| | 営業利益 | 296 | +1.2% +3 | 313 | +18.1% +48 | 610 | +9.3% +51 |
| 医薬品 | 売上高 | 1,008 | +3.8% +36 | 1,072 | +7.1% +71 | 2,081 | +5.5% +108 |
| | 営業利益 | 159 | +8.5% +12 | 60 | △13.8% △9 | 220 | +1.3% +2 |

サステナビリティトピックス（1）

2026年度までに「明治サステナブルカカオ」の調達比率を100%へ

- 「明治サステナブルカカオ」とは、農家支援を実施した地域で生産されたカカオのこと
- 本目標の達成を通して、森林減少や児童労働、栽培技術の周知不足など、カカオの生産地域や農家が抱える課題を解決し、持続可能なカカオの生産実現に貢献



メイジ・カカオ・サポートを訴求するロゴマーク（下）を付した商品パッケージに順次切り替え、サステナブルカカオの使用割合も表示

（表示イメージ）



明治は、2026年度までに「メイジ・カカオ・サポートを通じ、農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆」の調達比率100%を目指しています。

2022年度調達比率 62%

50%

100%

サステナビリティピックアップ（2）

サーキュラーエコノミーと食品ロス削減の取り組みを推進

使用済み紙パック回収の新たな取り組み

- 回収の循環を創出する実証実験を5社協業で開始
- 回収にご協力いただいたお客さまに割引クーポンを配信

■概要

1. 実験店舗：東京都内ローソン（3店舗）
2. 紙パックの回収期間：
11月30日（木）～1月30日（火）
3. クーポン引換え期間：
12月1日（金）～1月31日（水）
4. 対象：

| | 回収する紙パック | 発行するクーポン |
|----|------------------|------------------------------|
| 1. | 「明治おいしい牛乳」900ml | 「明治おいしい牛乳」900ml 30円引きクーポン |
| 2. | 「明治おいしい牛乳」450ml | 「明治おいしい牛乳」450ml 10円引きクーポン |
| 3. | 「明治おいしい牛乳」200ml | 「明治おいしい牛乳」200ml 10円引きクーポン |
| 4. | ローソン販売の上記以外の紙パック | 「明治おいしい牛乳」900ml 10円引きクーポン |

商品パッケージを活用した食品ロス削減の普及啓発



「めがせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト受賞作品の一部を「明治おいしい牛乳」などの商品パッケージに掲載する取り組みを2023年10月より順次展開

本日の内容

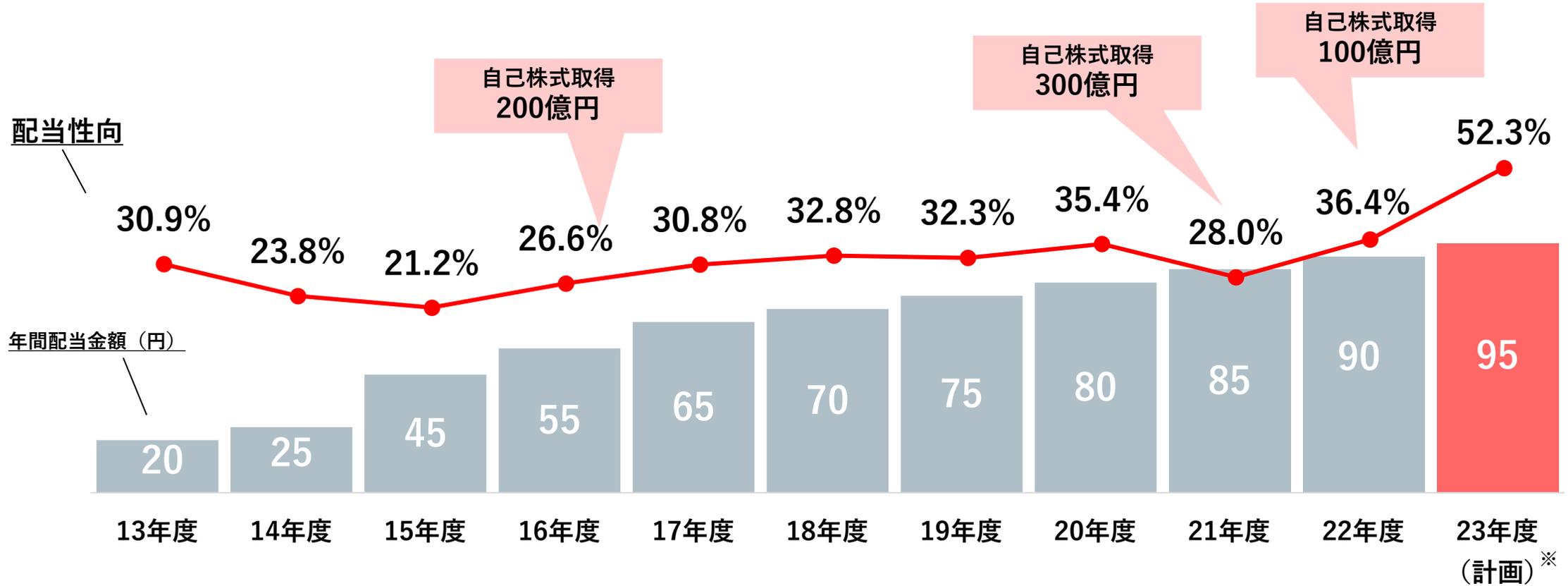
1. 基本情報

2. 事業戦略

3. 株主還元

株主還元の強化

● 2023年度も増配を計画、10期連続の増配



株式分割と優待制度の拡充

| 分割前 (2023年3月31日時点) | | 変更後 (2024年3月31日以降) | |
|-----------------------|----------|---------------------------------|-------------------------------|
| ご所有株式数 | 優待品 | ご所有株式数 | 優待品 |
| — | — | 100 株以上 (分割前50株以上) | 1,500 円相当 NEW!! |
| 100株以上 | 2,000円相当 | 200 株以上 (分割前100株以上) | 2,500 円相当 UP!! |
| 500株以上 | 3,500円相当 | 1,000 株以上 (分割前500株以上) | 5,500 円相当 UP!! |
| 1,000株以上 | 5,000円相当 | — | — |

- 100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、ご優待品（明治グループ製品詰め合わせ）を10月末ごろにお届け（基準日3月31日）
- 株主さまのご意志により、同等のグループ製品を福祉団体などへご寄贈いただくことも選択できます

※参考
2023年3月期の優待品
(500株以上3,500円相当)



株主さま向けイベントの実施

- 工場見学と食育セミナーの株主さま特別プログラムを実施

2023年12月21日 坂戸工場見学会



坂戸工場外観



工場見学の様子



ヨーグルトの食育セミナー

健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。